

市民防災の日 大防災訓練が行われました

泉佐野市では、市民一人ひとりが様々な災害についての防災意識を高め、災害に対する備えを強化し、安全で安心なまちづくりを推進するため、昨年から毎年11月の第1日曜日を「市民防災の日」としています。

今年の「市民防災の日」となる11月5日(日)、南海トラフ巨大地震を想定した「平成29年度 泉佐野市大防災訓練 ～タオルで知らせる「我が家は無事です」～」が市内31カ所の避難所など市内全域で行われ、約4,300人が参加しました。

問合せ先 市民協働課



当日実施された訓練の一部を紹介します

◀タオルで安全確認訓練
今回、タオルで家族の無事を知らせる安全確認訓練が実施されました。



▲北中小学校での避難訓練

今回の大防災訓練は、内閣府が全国9箇所で実施する地震・津波防災訓練の1つと位置付けられ、鶴原町自主防災会が訓練を行う北中小学校をメイン会場として行われました。講師として仙台市からお越しいただいた防災アドバイザーの吉田亮一さんの指導により、小学生・中学生・地域住民のみなさんに避難所を運営していただく東日本大震災の指定避難所の再現が行われました。



◀長滝第一町会館での避難訓練

東ノ番・中ノ番・西ノ番・長滝住宅・新長滝・郷田自主防災会の避難訓練が行われ、炊き出し訓練の他、上下水道局の協力による給水訓練、消防団長滝分団による消火訓練などが行われました。



▶上之郷小学校での

避難訓練

母山・机場・女形・上村・中村・下村自主防災会の避難訓練が行われ、炊き出し訓練の他、泉州南消防組合による救急処置訓練として応急担架の作成法やトレーニングキットを使用した心肺蘇生法の実技が行われました。女性消防団員も、実技指導に活躍していました。

